

② 予算編成プロセスの見直し（資料1－2 番号 20）

- ・ワーキンググループ名：「予算編成プロセスの見直し」検討ワーキンググループ
- ・構成：公募職員2、現場担当者等3、アドバイザー1、主担当課2、行革担当課2 計10名
- ・アドバイザー：関西大学経済学部非常勤講師 横山 寛和（よこやま ひろかず）
- ・検討状況：
 - 第1回（H24.4.27） ワーキンググループ設置の趣旨・目的等について
今後の進め方について
 - 第2回（H24.5.10） 現在の予算編成プロセスの課題について
 - 第3回（H24.5.24） 成果の確認と検証と予算編成への活用について
 - 第4回（H24. 6.8） 先進地調査結果について
成果の確認と検証と予算編成への活用について

③ 政策を推進するための新たな仕組みの構築（資料1－2 番号 24）

- ・ワーキンググループ名：「政策を推進するための仕組み」検討ワーキンググループ
- ・構成：公募職員2、現場担当者等5、アドバイザー1、主担当（行革担当）課2 計10名
- ・アドバイザー：統計数理研究所助教 朴 堯星（パク ヨスン）
- ・検討状況：
 - 第1回（H24.4.27） ワーキンググループ設置の趣旨・目的等について
今後の進め方について
 - 第2回（H24.5.10） 事務局・メンバーが考える現状と課題
 - 第3回（H24.5.31） 課題の選定
先進自治体・企業のベンチマーキングについて

(2) その他 主な具体的取組

① 勤務評価制度の検証と構築（資料1－2 番号 2）

- ・既に実施している管理職員にかかる勤務評価制度を年内をめどに検証
- ・試行中の職員育成支援のための評価制度の定着・施行に向け、年度内に課題の抽出と対応策の検討

② 意欲の向上に向けた組織風土づくり（資料1－2 番号 5）

- ・部下職員の意欲を高めるノウハウを修得する管理職員研修等を9月までに実施
- ・新たな職員提案制度を9月までに構築

③ 現場における危機対応力を備えた人材育成（資料1－2 番号 9）

- ・危機発生時において、現場で指揮を執る管理者層の判断力、対応力の向上等を図る「危機管理リーダー研修」を6～7月で実施

④ 多様な財源確保策の導入（資料1－2 番号 16）

- ・県有施設へのネーミングライツ導入に関する基本方針を8月に策定
- ・公用車への広告掲載について、7月に公募を実施

- ⑤ 新たな税の検討（資料1－2 番号 17）
 - ・森林づくりに関する税について、「森林づくりに関する税検討委員会」において報告書（骨子案）が策定され、県民意見募集（パブリックコメント）を実施中
- ⑥ 条例の一斉点検・見直し（資料1－2 番号 26）
 - ・県条例の適時性を確保するため、条例の一斉点検・見直しを実施し、その結果に基づき9月会議から順次、改正・廃止条例案を提出
- ⑦ 地域機関の見直し（資料1－2 番号 29）
 - ・課題検証などを行いながら、見直し概要案を9月を目途に作成
- ⑧ 外郭団体等の見直し（資料1－2 番号 31～33）
 - ・事業目的の妥当性、団体実施の必要性、団体経営の視点などから、団体のあり方や県関与のあり方に関する見直し方針を9月までに策定
 - ・個別団体の見直し内容等を2月に確定、公表